



2025年度のご報告

2025.4.1-2026.3.31

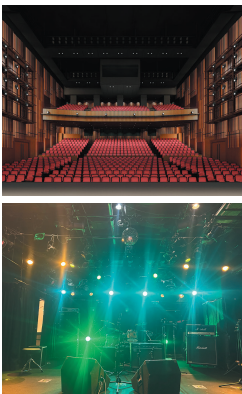
「大阪・関西万博」や「東京2025世界陸上」の受託事業を追い風に
主催イベントの増加、大規模公演やスポーツ、レジャーの
チケット販売も好調に推移 **いずれも** **過去最高**
営業利益、経常利益、当期純利益、

“稼ぐ力”は今後も堅調

渋谷には「Shibuya PIT ZERO」誕生
東京駅前「東京建物ぴあ
シアター&カンファレンス」
ヴェニューネットワーク、拡大中



6期ぶり
当初予想より**大幅引き上げ**
期末配当を**35円に増額**
過去最高水準で復配を実現



2026年以降も国際イベントが続々
「アジア・アジアパラ競技大会」、
「2027年国際園芸博覧会
(GREEN×EXPO 2027 通称:花博)」でも
チケットングを全面受託



PIA FILM FESTIVAL
PFF出身 **李相日監督**の
歴史的な大ヒット
「**国宝**」が
若年層の応募が
約4倍に

Life
is
Pure.
ぴあ

誰もが好きなエンタメを
自由に楽しめる世界を目指して
ぴあの新ステートメント
「Life is Pure.」発表

ぴあならではの活動を網羅した
最新 **サステナビリティレポート** を発行

エンタメを“社会基盤”に
大阪・関西万博で提言を発信





代表取締役社長
矢内 廣

ぴあを応援してくださる皆様へ

変身の成果を次の飛躍に活かします

3ヶ年の中期経営計画を前倒して大幅達成

皆様には平素よりご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。お陰さまで当連結会計年度におきましては、当初予測を大きく上回る黒字を達成しました。ぴあ総研の調査では、大規模興行の増加、動員数やチケット単価の上昇等により、集客エンタメ市場はコロナ禍前を大幅に上回る伸長を続けています。ぴあグループはこうした追い風の中、音楽・演劇・スポーツ・レジャー等の大型興行の主催、チケット販売、「ぴあアリーナMM」の堅調な稼働率などにより、取扱高ベースでの売上は約3,000億円規模に達し、連結会計年度で過去最高の水準となりました。また、当社がチケットング業務を全面的にお手伝いした「大阪・関西万博」や「東京世界陸上」も大盛況のうちに閉幕し、大規模イベントのソリューション事業を拡大するとともに、「ぴあカード」や「ホスピタリティチケット」などの周辺事業も順調に成長しました。中期経営計画で掲げた新規事業への戦略的投資の成果も表出し始め、営業利益・経常利益・当期純利益のすべてで前期実績を大幅に上回り、過去最高を更新しました。加えて、コロナ禍による多額の累積損も解消され、6期ぶりの復配も実現しました。誠に遺憾ながら無配を続けざるを得なかった期間中も、温かくご支援くださった皆様に心から御礼を申し上げます。

「感動のライフライン事業」の構築に向けて

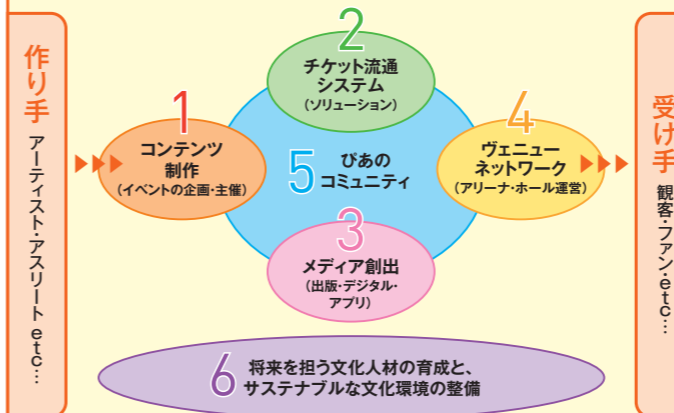
中期経営計画では、基幹事業のさらなる拡大をベースに、作り

手と受け手を一気に通貫に結ぶ「感動のライフライン事業」の実現に向けた経営シナジーを図るべく、周辺事業の創出や、新規事業・サービスの育成を進めてきました。特に、大阪・関西万博では、他社に先駆けて刊行した公式ライセンスガイド『大阪・関西万博ぴあ』が、続編も併せてレジャー系のムック本としては異例の120万部に達し、出版界の年間のベストセラーに認定されました。また、東京世界陸上も60万人超を動員する大成功を収め、特典や付加価値がセットされたホスピタリティチケット事業の収益化も進んでいます。一方、「神宮外苑花火大会」や「ぴあフェス」「パンのフェス」など、大規模興行の企画・運営・主催事業も拡大しています。「ぴあアリーナMM」は、週末は2年先まで予約が埋まる人気ぶりで、ライブホールの「豊洲PIT」「仙台PIT」も含めて高い稼働率を維持しています。さらに2026年には、東京駅直結の商業ビルに「東京建物 ぴあ シアター」（収容約800名）をオープン、併設のカンファレンスホールや会議室も同時に運営し、エンタメ、ビジネス、ショーケース等の多様なニーズに対応します。当グループでは今後も、こうした主催事業やヴェニューネットワークの拡大を全国規模で進めていく予定です。

ぴあの企業理念を基に サステナブルな世の中を目指して

国内唯一の「ライブ・エンタテインメント白書」を発行しているぴあ総研では、2022年より「集客エンタメ産業の社会的意義

“感動のライフライン”事業の基本フレーム



コロナ禍にあって、不要不急と言われたエンタテインメントこそ、多くの人々に勇気や元気をもたらし、夢や希望を与えてきました。当社グループは、事業継続のための利益を求める「経済性」とともに、あり得べき社会の姿を求める「趣旨性」の両立を図りながら、エンタテインメントを通じて、多くの人々を元気づけ、心を癒す「感動のライフライン」の構築を目指しています。

と本質的価値」をテーマにシンポジウムを毎年開催しています。文化・芸術・エンタメ・スポーツの持続的な発展と、社会課題の解決におけるその大きな力について提言を進めていますが、第4回目は京都で、また8月の大阪・関西万博でも、未来の教育や社会におけるエンタメの役割を考えるパネルディスカッションを開催しました。

昨年で47回目を数えた自主製作映画のコンペティション「PFFアワード」では、今回も若い才能の台頭が目立ちました。日本航空の国際線・国内線では、過去の入選作品が機内上映プログラムに加わり、新人監督たちにとって、貴重な上映機会が増えました。また、映画の未来を拓き、世界へと羽ばたこうとする若く新しい才能に対して贈られる「大島渚賞」も第7回を数え、「PLAN75」や「ルノワール」で注目の早川千絵監督に授与され

2025年度の主な活動

Timeline of main activities for 2025, categorized by business type: チケット流通事業 (Ticket Distribution), コンテンツ事業 (Content), ソリューション事業 (Solution), 会場事業 (Venue), メディア&プロモーション事業 (Media & Promotion), サステナビリティ活動等 (Sustainability), and IR活動 (IR). The timeline spans from April to March, highlighting key events like EXPO 2025, Tokyo 2025 World Athletics Championships, and various festivals and exhibitions.

新たなステートメント「Life is Pure.」に込めた想い



ぴあグループは1月5日の新聞全面広告にて、新しい企業ステートメント「Life is Pure.」を発表しました。エンタテインメントによる感動は、日々の生活における「酸素」のようなものだと考えています。“ひとりひとりが生き生きとした社会の実現を目指すぴあの企業理念を広くお知らせし、コンテンツの創出からプロモーション、チケット流

通、アリーナ・ホール運営、コミュニティの醸成まで、エンタテインメントの作り手から受け手までを一気通貫に結んだ「感動のライフライン事業」を実現し、日本で唯一の総合エンタメ企業を目指してまいります。誰もが、好きなエンタテインメントを自由に楽しめる世界を目指して、「Life is Pure.」という言葉に、私たちの想いと覚悟を込めています。

1 コンテンツ制作

全国7か所にて「パンのフェス」を主催

今年3月、横浜赤レンガで開催10周年を迎え、過去最大の106店舗が出店、累計来場者数は178万人を突破。北海道、福岡ほか7か所で開催の人気ベーカリーを招きサテライトイベントを開催。地方経済の活性化にも寄与しました。



国立競技場での主催公演を実現 「2025 MUSIC BANK GLOBAL FESTIVAL IN JAPAN」

25年以上に渡り世界142カ国で放送されている韓国の人気番組「ミュージックバンク」の年末スペシャルイベント。国立競技場での開催は、K-POPおよび合同コンサートとしては史上初で、25組のアーティストが出演し、2日間で12万人の動員を記録しました。

これから開催のイベント



国際親善試合 「FC東京 vs ポルシア ドルトムント(ドイツ)」

2026年8月1日(土)
●MUFGスタジアム(国立競技場) (東京)

ピクサーの世界展

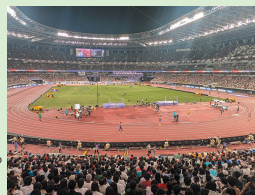
開催中～
2026年10月12日(月・祝)
●CREVIA BASE Tokyo (東京)



(東京建物 ぴあ シアター / オープニングシリーズ)
ミュージカル「シークレットステージ」
2026年9月9日(水)～24日(木)
●東京建物 ぴあ シアター (東京)
脚本・演出:渡辺えり、主演:市村正親
初日直前の劇場を舞台に、主演離脱の窮地に陥った訳ありの4人が20役を演じ分ける重層的な演劇愛の物語。

2 チケット流通システム

「東京2025世界陸上」では、国際大会で初めて、チケットリングとホスピタリティ業務を全面受託。有料チケット約58



万枚を販売し、ホスピタリティパッケージも多くが完売。さらに、未来のアスリートに観戦機会を届ける「バトンをつなげ」プロジェクトを実施、スポーツ文化の持続的な発展に寄与しています。

「大阪・関西万博」においても、入場チケット販売、来場イベント予約を一元管理するシステムや、ID登録不要で購入可能な「EXPO Quick」を提供し、来場者数2,500万人を超える国際的な大規模イベントのチケットリング業務を無事完遂しました。

今年9、10月には日本で32年ぶりに開催の「アジア競技大会」、初開催の「アジアパラ競技大会」のチケットリング及びホスピタリティ業務を受託、横浜で来年開催の「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)」でも、その運営を支援し、より多くの方に感動体験を届けます。

3 メディア創出

あの『ぴあ』が15年ぶりに復活。アナログな紙媒体とデジタルを融合させた『とぶ!ぴあ』は、偶然の出会いが得られる紙の誌面の楽しさと、QRコードでデジタル版の『ぴあ』へ“とぶ(=遷移する)”ことで、最新情報の確認やチケット購入ができる便利さを併せ持った、ハイブリッドなメディアとして創刊されました。

ジャンルいろいろ! 話題のMOOKSご紹介

『MGA MAGICAL 10 YEARS ANNIVERSARY BOOK -OUR STORY-』

ミセス初めての単行本は豪華4冊組!



『名建築カフェと庭園レストラン』

首都圏で見つけた、建物と庭で安らぐ空間を紹介

『万博グルメ食べに行こ!』

世界各国の料理を楽しむ、万博ガイドの番外編グルメガイド!



4 ヴェニューネットワーク

ぴあがコングレ社と共同で運営する劇場・カンファレンス施設「東京建物 ぴあ シアター&カンファレンス」が、東京駅前の大規模複合施設「TOFROM YAESU TOWER」内に今年5月1日にプレオープンしました。さらに、渋谷にあるライブハウス「SHIBUYA TAKE OFF 7」のリニューアルに伴い、ぴあが手がけるライブハウスブランド「Shibuya PIT ZERO」が6月にスタートを切るなど、豊洲PIT、仙台PITに続き、着々とそのネットワークを広げています。

また、2020年開業の1万人収容の音楽アリーナ「ぴあアリーナMM」は引き続き好調を維持しており、週末は約2年先まで予約が埋まっています。2026年からは使用電力を再生可能エネルギー由来のものへ切り替え、温室効果ガス排出量をゼロ化し、環境にも優しいアリーナとして運営しています。



5

ぴあのコミュニティ

まもなく会員数40万人に達する「ぴあカード」は、エンタテインメントファンの皆様の活動をバックアップする、ぴあならではのクレジットカードです。約2,200万人が登録する「ぴあ会員」に向けたサービスと合わせて、様々な特典が好評を得ています。また、スタート以来7年半で“ぴあニスト(アプリ会員)”

の登録者数が約175万人となった「アプリ版ぴあ/WEB」も『とぶ!ぴあ』との連動をスタートしました。さらに、ぴあを応援して下さる約3万人の個人株主の皆様もちろん、ぴあを支える大切なコミュニティです。2025年度は、コロナ禍以前に開催していた「ぴあ個人株主懇談の集い」を再開し、大

阪・名古屋・福岡・札幌にて開催、ぴあグループの役員や社員が直接株主の皆様様に様々な事業についてご説明し、貴重なご意見を伺うことができました。



6

サステナブルな人材・文化の育成

ぴあ総研による 集客エンタテインメントの価値提言

ぴあ総研では、「集客エンタメ産業の未来に向けた社会的意義と本質的価値」をテーマに、毎年シンポジウムを開催しており、昨年は京都および大阪・関西万博で実施しました。さらに、今年3月には、オリンピックミュージアム(スイス・ローザンヌ)で開催されたIOC関係者らが集う国際フォーラムにおいて、「SDGsの18番目の目標」および大阪・関西万博で提唱した「大阪宣言」を公表し、集客エンタテインメントを“社会基盤”として再定義する考え方を国際的に発信しました。また、「エンタメとウェルビーイング」を研究する学習会を立ち上げ、今年3月のウェルビーイング学会学術



集会でも、エンタメが単なる一時的な消費にとどまらず、人と人とのつながりを生み出し、その蓄積が長期的かつ社会的な価値へと広がる可能性について報告しました。

ぴあグループでは、世界の多様な「文化芸術」の共存・共生こそが、サステナビリティの根源をなすという考えに基づき、SDGs18番目の目標として、“Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports.”(文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を)を提言しています。



映画の新しい才能を「発見」して「育成」、そして「飛躍」を応援するPFF

「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに、1977年から続けてきた「PFF・ぴあフィルムフェスティバル」は今年で48回目を迎えます。一昨年から20歳未満の出品料を無料化したこともあり、この3年で10代の監督の応募も約4倍に急増しています。また、新人監督のデビュー作をPFFが支援する「PFFプロデュース(旧称:PFFスカラシップ)」では、第30回作品「メイメイ」(蘇鈺淳(スー・ユチュン)監督)が全国公開に向けて準備中です。さらに、世界へ羽ばたく若くて新しい才能に送られる、第7回「大島渚賞」は、2025年の「ルノワール」で、2作品連続でカンヌに選出、長編2作目にしてコンペティション部門で上映されるという快挙を成し遂げた、早川千絵監督が受賞しました。



第7回大島渚賞を受賞した早川千絵監督



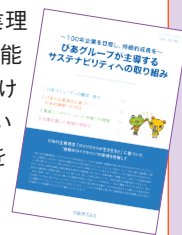
PFFアワード2025でグランプリに輝いた「空回りする直美」の中里ふく監督(右)

ぴあの従業員支援と活力向上への取り組み

大規模災害時の「BLCP計画」を策定し、会社の継続とともに従業員の生命と生活を守ることを目的に、全社横断的な準備を推進中です。さらに、長寿地域「ブルーゾーン」の特徴を活かし、健康で生き生きとした職場環境の醸成を目指します。また、全社員持株制度やライブ・エンタメ鑑賞補助制度も導入し、従業員の働きがいを高めています。

『サステナビリティレポート 2026～2027年版』を発行

100年企業を目指し、ぴあグループが主導するサステナビリティへの取り組みを、4つのテーマにまとめたレポートを、今年6月に発行しました。ぴあの企業理念に基づき、持続可能な社会の実現に向けて私たちが続けている活動やアイデアをご紹介します。



ぴあの決算ハイライト

[単位:百万円]	2024年度	2025年度	2026年度(予想)
売上高	45,362	55,330	48,000
取扱高※	270,510	303,340	290,000
営業利益	2,636	4,311	2,500
経常利益	2,378	4,345	2,300
当期利益	1,591	3,317	1,500
1株当たりの配当金	0円	35円	30円

※チケット取扱高:旧会計基準の売上高であり、東証に開示している数値ではありません

2025年度は、大阪・関西万博や東京2025世界陸上などの受託事業や、主催・企画・運営イベントの増加、大規模公演やスポーツ、レジャーなどのチケット販売が好調に推移し、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年を上回り、いずれも過去最高を更新しました。加えて、サービス利用料改定による収益構造改善や各種投資の効果もあり、最終年度を迎えた中期経営計画の目標を大きく上回って達成。コロナ禍で生じた累積損失を解消し、6期ぶりの復配も実現しました。次期は大型国際イベントの一時的な収益増分の剥落や成長投資の拡大により減収減益を見込むものの、これは将来の事業基盤強化に向けた戦略的投資期間と位置付けており、新たな中期経営計画のもと、持続的な成長を目指しています。

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。 <https://corporate.pia.jp/ir/>

会社情報 (2026年3月31日現在)

会社概要

商号	ぴあ株式会社 (PIA Corporation)	
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー	
設立	1974年12月	
資本金	6,483百万円	
社員数(連結)	621名	
事業内容	コンサートやイベントの企画・制作・運営、音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、スポーツ団体・劇団・ホールなどへの各種ソリューションサービスの提供、ぴあアリーナMMなどホール・劇場の企画・運営、エンタテインメント・レジャー領域を中心としたネットメディアや出版物の企画・編集など、エンタテインメント全般に付随する各種事業	
役員	代表取締役社長	矢内 廣
	取締役副社長	木本 敬巳
	専務取締役	吉澤 保幸
	常務取締役	村上 元春
	取締役	小林 寛
	取締役	東出 隆幸
	取締役	川端 俊宏
	取締役(社外)	宮本 暢子
	取締役(社外)	一條 和生
	取締役(社外)	村井 満
	取締役(社外)	山森 郷司
	取締役(社外)	岡嶋 則幸
	常勤監査役(社外)	能勢 正幸
	監査役(社外)	松田 政行
	監査役(社外)	山口 拓哉
	チケットぴあ名古屋株式会社 チケットぴあ九州株式会社 ぴあ総合研究所株式会社 ぴあグローバルエンタテインメント株式会社 ぴあフィールドサービス株式会社 株式会社東京音協 MECぴあクリエイティブ株式会社 ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社 PDHX株式会社(2026年4月1日より) ぴあライブクリエイティブ株式会社	

(※役員構成は第53回定時株主総会決議後の6月20日時点の情報を掲載しています。)

主要グループ会社

株式の状況

発行済株式総数	15,668,713株
株主数	31,516名

主な株主

株主名	持株比率(%)
矢内 廣	19.54
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	9.00
TOPPAN株式会社	6.94
きらぼしキャピタル東京 Sparkle 投資事業有限責任組合	5.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4.60
SpireX株式会社	4.50
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	4.50
三菱地所株式会社	4.34
PERSHING-DIV.OF DLJ SECS. CORP.	3.12
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	1.78
矢内アセットマネジメント株式会社	1.28

株式メモ

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4337
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日(中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告(URL) https://corporate.pia.jp/ir/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	TEL.0120-782-031
電話お問い合せ先	TEL.0120-782-031
インターネットホームページ	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

株主優待制度について

2026年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の通り株主優待を実施しています。

1. 優待品目

- オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカード、「災害復興のための、ぴっけろくまっぴー募金」から、下記優待金額(年2,500~11,000円)の範囲内で自由に組み合わせて事前にお選びいただけます。



2. アプリ

[有料コンテンツの利用]

ぴあ 年6,000円分

2026年3月31日時点で2期継続、100株以上を保有していただいている株主の皆様は、通常年間6,000円がかかる「ぴあ」(アプリ)の有料コンテンツを1年間無償でご利用いただけます。詳しくは、対象となる株主様に別途送付されるお知らせをご覧ください。

2. 優待区分

保有期間 保有株式数	2期未満 (1年未満)保有	2期以上(1年超)継続保有	
	優待	優待	アプリ
1,000株以上	5,500円分	11,000円分	ぴあ 年6,000円分
100株以上	2,500円分	5,000円分	ぴあ 年6,000円分

「ぴあ」(アプリ)で、ワード検索ではたどり着けないエンタテインメントとの偶然的出会いと発見を体験ください

株主の皆様には、「ぴあ」(アプリ)の有料コンテンツを1年間無償でご利用できる優待(左記参照)をご提供しています。「週末に映画でも見ようかな」「たまには散歩がてら美術館に行ってみようか」、そんな時にこの「ぴあ」(アプリ)が活躍します。今見るべきエンタメ情報が満載、眺めているだけで、きっと気になる作品に出会えます。エンタメの目利きしてくれる「水先案内人」を“ごひいき登録”すると、自分の好みにあった『ぴあ』が作れるパーソナライズのサービスも好評です。新装刊の雑誌『とぶ!ぴあ』と合わせてご利用いただくと、さらにエンタメライフが広がります。ぜひ、お試しください。



「災害復興のための、ぴっけろくまっぴー募金」のお知らせ

ぴあグループでは、2024年度、能登災害の復興のため、株主優待を活用して義援金を募り、「芸術・文化による災害復興支援ファンド」へ寄付を行いました。2025年の株主優待制度より「災害復興のための、ぴっけろくまっぴー募金」と名を変え、すでに429名の方から総額898,000円をお預かりしています。有事の際に、エンタテインメントによる心の復興支援を目的とした支援が素早くできるように準備しております。今後寄付先が決定しましたら、弊社ホームページでご報告いたします。エンタテインメントを愛する皆様のご協力を引き続き、よろしくお願いいたします。

